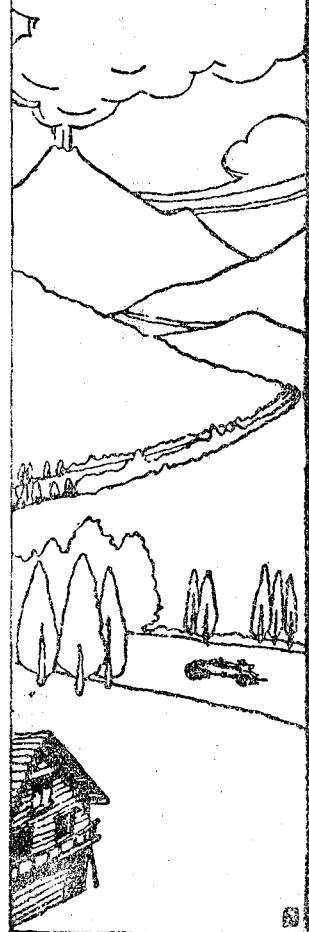


# 論說

## 道路改良に伴ふ經濟問題と希望

道路改良會理事 松木幹一郎

我國の道路改良に關する世論は、先覺者の不斷の努力と時勢の推移と相俟つて、最近に於ては、先づ遺憾なく普及されたと云つても宜い。今や吾々は第二期の時代に直面して居るのである。即ちこの認められた世論に基づいて、道路改良の實行的促進を早く觀たいといふことである。



其更て、第一に問題になるのか経費である。その中にも新線路の設定、舊道路の擴築などは、材料は大抵きまつたものであり、しかも費用の多分は工費に使はれるのであるからその理解には大した困難もないが、獨り道路の鋪装に至つては、その交通量や四圍の事情との關聯が極めて複雑であるだけに、その設計や費用に餘程の伸縮性が伴ふて居るため、之が施工上多大の留意を要するのである。即ち新施設當時の費用と保存修繕に屬する費用の定めかたとか、全體経費支出の上に於て、頗る重要なアイテムであつて、これがよく世間の諒解を得ないと経費が出なくなり易い恐れがある、何となれば道路熱の盛んな時期には最初の豫算位はたやすく成立しても、次から次へと莫大なる修繕維持の費用が要ることになれば、そこで費用の出所に困難を感じて來ることになる。殊に最近流行の受益者負擔の制度等を徹底して行はれしむるには、何としてもこの経費の點に就て充分なる諒解を世間に與へることが絶対に必要であると思ふ。

○

以上の議論は鋪装道路に於て最も關係が深いのであるが、揚實際に於て何れの當局者または専門家からも尙明確なる數字の定例を充分に聞くことを得ないのは、吾人の常に遺憾とするところである。勿論ある場所ある時期に於ける若干の調査は、さして六ヶ敷い譯ではないが、之を綜合的に纏めた正確なものが得られないもので甚だ遺憾を感じ得ないのである、施工の當局者は、それが府でも、國でもまた市であつても、先づ豫算を取つて之を使ふといふことが第一の要件であるが、長い間の問題と

して此使はれたものゝ行末を見届けるまでの親切が足りないやうに見える、これは一面から云へば結果に於て自分達のやつたことを批判するやうなものであるから、ある場合には苦しい破目に陥るかも知れないが、いつかは明確にされないでは置かれないものであるから今日に於て遅くとも総合的に纏めて置いて、主要なる道路改良の經濟的資料とされむことを希望する次第である。

わが道路改良會に於ても道路改良に關する諸多の研究を各方面に涉つて昨年來始めて居らるゝのは吾人の最も傾幸に堪へない次第であるが、今日に於ては道路改良の經濟的價値といふやうなことを寧ろ其自身疑なき問題であつて、只問題となるのは其爲に掛けた經費の經濟的能率がどうであるかといふ問題に落付くのである。而して之を確かめるのにはどうしても假に東京市内の例を取つて見れば、道路の擴築乃至鋪裝にかけた費用及其維持修繕に要する費用が明確に算定せられ得る場合にのみ結論が出て來るのであつて、それが明白でなければ結論も從つて曖昧たるを免がれないのである。

## ○

以上は一般論であるが、實際當局者となると、この計算も可なり骨の折れるものであることは想像し得らるゝのである、道路鋪裝についても電車線路の如きその相當の經濟が別々になつて居るとか、其他色々の事情が鋪裝の保存年限の來ない前に又堀返して遣り直しをするといふやうなこともあらのみならず、吾等が虎の門赤坂方面其他隨所に見る如く、電車軌道の軌條の兩側に堅に並べた石の

如きは其施工方法が原因であると思はるゝ有様の下に終始堀り返して埋め直しをやつて居るこれ等は維持費としては不穢當で建設費(鋪装の最初)の不備が直接に齎らす結果であると思はるゝやうなものがある、かゝることは數へ立てれば限りもないことであるが、それは道路の技術の進歩過程の一現象として必ずしも六ヶ數批判するには當らない、只吾等の要求するものは一の區劃に於ける線路の最初の建設的工費と次から次に使はれて居る維持修繕の費用が明細に判明して、それに何等の重複もなく無駄もなく凡てが最善を盡されてあるものとの理解を得るやうな數字が世人によく諒解さるゝ日の近からむことを望むのである、若しもそれは豫算と決算を分析、綜合して作つて見れば分るではないかと云ふことであれば、それは吾人の望む主旨とは違ふ官僚的辯明である、恐くは、そんなことは何處の當局者の何人の口からも出まいと信ずる、今日の世間はかゝる答辯では満足しない、それを政治が民衆の諒解を主とする政治となつて居るからである、經費を負擔する民衆に正しき諒解を與へずして、たゞ「必要」の二字で此負擔を強ひる譯にはゆかない。而してかゝる諒解を與へるためには最早道路の建設や維持の豫算の標準單價などでは満足出来ぬ、是非其實行の結果に基く實例的計算を根據とした調査でなくてはならないのである。

## ○

如上の調査は吾々の見るところとは全國一般のものに就ては内務省の土木局に最も有力な資料があり、鋪装や擴築の關係は何といつても東京市が一番多くの實例を持つて居ることゝ信する、加之

これを調べ上げる機關もまた、その餘裕も便宜も最も多く兩者に於て持つて居らることを信ずる。道路改良に關する第二段の運動として、普選時代の今日に最必要な諒解政治の一つの方法として、速かに此希望を充たす方法を取つて戴きたいと念するのである。道路改良に關する經濟上の將來の難問は恐くはこの立脚點より比較的容易に冰解されて行くことゝ信ずる。

## 伯林市に於ける道路費負擔に關する制度

内務書記官 丹 羽 七 郎

道路費は國又は公共團體の一般收入に依りて支辨するを原則とすべきも、又利害關係者をして之を負擔せしむることを相當とする場合あり、伯林市に於ては、道路費を利害關係者に負擔せしむる諸種の制度を探る。(一)建築線法に依る道路の新設變更費の負擔制度(伯林市建築線法施行條例參照)、(二)市町村公課法に依る受益者負擔制度、(三)慣習法に依る歩道の築造義務(歩道の開設及維持に關する伯林市警察令參照)、(四)道路の損傷に對する負擔の制度を擧ぐることを得べし。本誌一月號に於て内務事務官飯沼一省氏は「獨逸に於ける道路分擔金制度」と題し、獨逸全體に亘り、豊富なる材料に基き極